



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 ミスターマックス
 コード番号 8203 URL <http://www.mrmax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平野 能章
 (氏名) 中野 英一

TEL 092-623-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	91,229	4.5	1,699	—	1,709	—	1,493	—
27年3月期第3四半期	87,340	4.3	26	△92.4	105	△75.9	△0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	44.98	—
27年3月期第3四半期	△0.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	82,556	19,782	24.0
27年3月期	78,089	18,339	23.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 19,782百万円 27年3月期 18,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,400	4.5	1,240	—	1,260	—	800	—	24.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	39,611,134 株	27年3月期	39,611,134 株
28年3月期3Q	6,411,206 株	27年3月期	6,410,228 株
28年3月期3Q	33,200,389 株	27年3月期3Q	33,202,072 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の商品部門別の実績は、飲料や加工食品が好調な食品部門や、紙おむつや洗剤が好調なHBC (Health and Beauty Care) 部門、テレビや台所用家電が好調な家電部門などが売上を伸ばしました。

既存店の売上高および太陽光発電収入の増加に加え、前期中に開店した新店の売上高が寄与し、当第3四半期累計期間の営業収益は912億29百万円（前年同期比4.5%増）と増収となりました。

収益面においては、営業収益が増収となったことにより、営業総利益は227億63百万円（前年同期比4.8%増）となりました。一方で、販売費及び一般管理費は、人件費、消耗品費、水道光熱費などの削減により210億63百万円（前年同期比2.9%減）となりました。これらの結果、営業利益は16億99百万円（前年同期比6,332.8%増）、経常利益は17億9百万円（前年同期比1,522.9%増）となっております。

また、平成27年3月期決算において、今後発生すると見込まれる店舗閉鎖に伴う損失額を店舗閉鎖損失として計上しておりましたが、一部の店舗について閉店時期を決定し、固定資産の減損損失、資産除去債務等について、繰延税金資産の回収スケジュール計算が可能となったことから、当第3四半期において、繰延税金資産を3億56百万円計上しております。その結果、四半期純利益は14億93百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、商品や売掛金の増加などにより、前事業年度末に比べ44億67百万円増加し、825億56百万円となりました。

(負債)

負債は、買掛金の増加などにより、前事業年度末に比べ30億24百万円増加し、627億74百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前事業年度末に比べ14億42百万円増加し、197億82百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において、営業利益、経常利益、純利益とも期末業績予想の数値を上回っておりますが、暖冬による売上への影響や国会で審議中の法人税減税に伴う繰延税金資産の取り崩しなど、第4四半期の業績の見極めが必要であることから、平成27年10月29日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,897	3,114
売掛金	1,544	2,960
商品	9,045	12,004
貯蔵品	77	85
その他	2,054	2,030
流動資産合計	14,621	20,196
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,877	16,004
土地	27,167	27,166
その他(純額)	5,546	5,254
有形固定資産合計	49,591	48,426
無形固定資産	171	136
投資その他の資産		
その他	13,705	13,796
投資その他の資産合計	13,705	13,796
固定資産合計	63,468	62,360
資産合計	78,089	82,556

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,558	12,689
電子記録債務	5,120	6,302
1年内返済予定の長期借入金	10,750	10,832
未払法人税等	—	407
賞与引当金	308	299
店舗閉鎖損失引当金	—	350
その他	5,040	4,093
流動負債合計	29,777	34,975
固定負債		
長期借入金	20,349	18,878
退職給付引当金	704	731
店舗閉鎖損失引当金	867	517
資産除去債務	1,119	1,104
その他	6,932	6,567
固定負債合計	29,972	27,799
負債合計	59,749	62,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,951	7,980
利益剰余金	622	4,085
自己株式	△2,598	△2,599
株主資本合計	18,204	19,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85	86
繰延ヘッジ損益	49	△1
評価・換算差額等合計	135	84
純資産合計	18,339	19,782
負債純資産合計	78,089	82,556

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	83,810	87,634
売上原価	65,626	68,466
売上総利益	18,184	19,168
営業収入		
不動産賃貸収入	3,189	3,093
その他の営業収入	340	500
営業収入合計	3,529	3,594
営業総利益	21,713	22,763
販売費及び一般管理費		
販売費	4,318	4,317
一般管理費	17,368	16,746
販売費及び一般管理費合計	21,687	21,063
営業利益	26	1,699
営業外収益		
受取利息	70	71
受取手数料	163	151
仕入割引	12	11
その他	104	25
営業外収益合計	350	259
営業外費用		
支払利息	261	243
その他	10	6
営業外費用合計	272	249
経常利益	105	1,709
特別利益		
投資有価証券売却益	20	31
テナント解約収入	12	7
補助金収入	29	40
特別利益合計	62	79
特別損失		
固定資産除却損	64	8
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	66	8
税引前四半期純利益	101	1,781
法人税、住民税及び事業税	127	363
法人税等調整額	△25	△75
法人税等合計	101	287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△0	1,493

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年6月26日開催の定時株主総会決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金1,970百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本剰余金が1,970百万円減少し、利益剰余金が1,970百万円増加しております。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。